

山形市 郷土の景観守りたい 山寺小児童、 地元巡り理解深める



2026/07/30 朝刊 地域

県などによる景観出前授業が14日、山形市の山寺小（武田裕子校長）で行われ、5、6年生11人が山寺芭蕉記念館などを巡り、郷土の風景を守る大切さについて学んだ。

県と市の担当者が講師を務めた。山寺登山口や山寺芭蕉記念館のほか、昔ながらの生け垣や石垣などが保存されている馬形地区を歩いた。このうち同記念館は宝珠山立石寺の五大堂などの姿を拝めるビューポイントになっていることを市職員が紹介。児童は市景観重点地区にも指定されている山寺の景観について理解を深めた。

（小林達也）